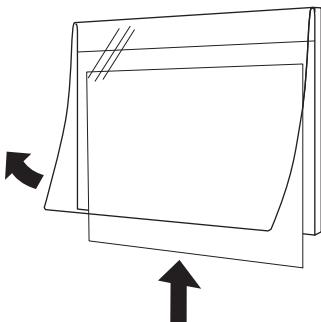




◎ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
業者様へ一本書はお客様へお渡しください。  
お客様へ一本書は大切に保管してください。

## セット方法



- 壁付けや吊り下げでの使用はできません。
- 使用時は、透明板の開口部をはさむ、または押させて使用してください。押さえずに使用すると透明板が開き、セットしたプリントがずり落ちる場合があります。
- 開口部を広げすぎないようご注意ください。  
開口角度は30°程度が目安です。

透明板を開き、ポスター等をはさみ込みます。

### お取り扱い上の注意

ご使用前に必ず本書(取扱説明書)をよくお読みいただき、記載された注意事項を守って、正しくお使いください。  
※記載された注意事項の内容を守らずに使用した場合の事故や損害については、責任を負いかねます。

組立・設置に際して	<ol style="list-style-type: none"><li>1.本体及び部品の改造は行わないでください。<ul style="list-style-type: none"><li>・強度低下、故障、事故の原因になります。また、本来の機能を損なう恐れがあります。</li></ul></li><li>2.屋内向き仕様ですので、環境条件にご注意ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・この商品は屋内向き仕様になっています。直射日光や雨風を避けてお取り付けください。</li></ul></li><li>3.設置場所にご配慮ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・人通りや周囲の状況に配慮し、ポスター等の入れ替え作業に支障のない場所に設置してください。</li><li>・人通りや周囲の状況に配慮し、安全な場所に設置してください。本体に人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。</li><li>・冷暖房の空調設備付近(熱風・冷房の直接当たる場所)には設置しないでください。</li></ul></li><li>4.設置面の材質・状態をご確認ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・パネルや掲示物の重量に耐えられる壁面にお取り付けください。</li></ul></li><li>5.取り付け金具を正しくお選びください。<ul style="list-style-type: none"><li>・壁面の材質により、付属の直付け用ビス等が合わない場合があります。市販の取り付け金具をご使用の際は、パネルや掲示物の重量に耐えられるものをお選びください。</li></ul></li></ol>
	<ol style="list-style-type: none"><li>1.角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、取り扱いにご注意ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・手などを傷つける恐れがあります。また、人に当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。</li></ul></li><li>2.パネルの下にものを見かないでください。<ul style="list-style-type: none"><li>・予期せぬ事態でパネルが脱落することも予想されます。</li></ul></li><li>3.中身やパネルがしっかりと固定されているかご確認ください。<ul style="list-style-type: none"><li>・中身のセット後、開閉パネルやネジ等の可動部分がしっかりと固定されていることを確認してお使いください。部品等の固定が不十分だと中身やパネルが落するおそれがあります。</li></ul></li><li>4.故障、破損、部品の紛失等があった場合は、業者の方に依頼し、新しいものに交換してください。</li></ol>
	<ol style="list-style-type: none"><li>1.定期的に点検してください。<ul style="list-style-type: none"><li>・パネルと裏面の金属部分(ビス等)のゆがみ、ガタつき、錆、腐食等の異常がないかを点検し、異常がある場合は交換してください。</li></ul></li><li>2.定期的に清掃してください。<ul style="list-style-type: none"><li>・パネル周辺はほごりがたまりやすく、放置していると汚れますので定期的に清掃してください。</li><li>・柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってふいてください。金属磨き、サンドペーパー等は表面をいためます。</li><li>・殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジン等揮発性のあるものでふいたりしないでください。変色、変質の原因となります。</li><li>・透明板はキスが付きやすいのでこすらないようにしてください。</li></ul></li></ol>
	<p> 角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、手などを傷つけないよう、取り扱いにご注意ください。</p>